

公開タグ	心疾患全般	心疾患全般
タイトル	新型コロナウイルス蔓延下での心筋梗塞の受診について	新型コロナウイルス感染による血栓症発症リスク増大の警鐘
主に該当する病期	病期を問わず	病期を問わず
概要	<ul style="list-style-type: none"> 日本心血管インターベンション治療学会のHPで、「新型コロナウイルス蔓延下での心筋梗塞の受診について」、一般市民に向けた、説明ビデオが公開された。 心筋梗塞患者さんが新型コロナウイルスの影響で、受診を控える傾向にあることが調査結果をもとに注意喚起されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本血栓止血学会のHPで、「新型コロナウイルス感染による血栓症発症リスク増大の警鐘」が公開された。 COVID-19の合併症として血栓症が報告されている事の経緯がまとめられている。 国際血栓止血学会の提言や論文の紹介を行い、日本血栓止血学会の提言としてコメントが作成されている。
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 外出制限に伴う問題を把握する際や患者さんへの説明の際の参考資料として役立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併症として血栓症の可能性のある事、それに対する指針を把握することで、重症化予防のための治療や介入に役立つ可能性がある。
リソースのリンク	http://www.cvit.jp/news/2020/05/12_005951.html	http://www.jsth.org/wordpress/wp-content/uploads/2020/05/20200513_2.pdf
QRコード	 <p>http://www.cvit.jp/news/2020/05/12_005951.html</p>	 <p>http://www.jsth.org/wordpress/wp-content/uploads/2020/05/20200513_2.pdf</p>
公開日	5月12日	5月13日

公開タグ	心疾患全般	心疾患全般
タイトル	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第2版	COVID-19流行期における急性心不全患者の呼吸管理に関するアンケート（日本心不全学会）
主に該当する病期	病期を問わず	急性期
概要	<p>・日本医師会より診療所などの外来医が、迷うことなく一定水準のレベルでCOVID-19に対応できるマニュアルの第2版</p>	<p>・日本心不全学会が全国174施設（43都道府県）に対して行ったCOVID-19流行期における急性心不全患者の呼吸管理に関するアンケート調査結果。 ・全国的にCOVID-19流行前に比べ流行後、急性心不全におけるNIVならびにNHFの使用を抑えるようになり心不全診療が困難と感じる機会が増えていた。 ・感染拡大地域では、COVID-19感染を積極的に疑わない症例でNIVもしくはNHFを用いた後に感染が判明した施設もあった。</p>
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<p>・COVID-19患者への対応やトリアージ、COVID-19による肺炎が疑われる患者に対する診察と検査、重症化を疑う指標が、理学療法士においても有益な情報である。</p>	<p>・COVID-19感染者は非侵襲的な呼吸管理ではなく、気管挿管による呼吸管理を選択されていた。 ・COVID-19感染が否定されていない患者においても、非侵襲的な呼吸管理が選択される割合は減少していた。 ・慢性心不全患者の侵襲的な呼吸管理が増加しているため、急性期理学療法の必要性（ICUスタッフ指導を含め）は増加すると考えられる。</p>
リソースのリンク	https://www.mhlw.go.jp/content/000631552.pdf	http://www.asas.or.jp/jhfs/pdf/20200519.pdf
QRコード	 <p>https://www.mhlw.go.jp/content/000631552.pdf</p>	 <p>http://www.asas.or.jp/jhfs/pdf/20200519.pdf</p>
公開日	5月18日	5月19日